

事務事業名		岩手県清掃協議会沿岸南部ブロック会議開催事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																									
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造				事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 10 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
	施策名	05 地域環境の保全と共生																													
	基本事業名	03 し尿の適正処理の推進																													
根拠法令						予算科目 会計 款 項 目 事業 06 04 01 01 00																									
所属	部課名	気仙広域連合 衛生課																													
	課長名	熊谷明人																													
	係名	総務係	電話	0192-26-3739																											
	担当者	滝田留里子	内線	(直通)																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 清掃事業の円滑な推進を図ることを目的とし、設立された岩手県市町村清掃協議会の沿岸南部ブロック会議を開催する事業である。同協議会に加入している市町村、一部事務組合(広域連合)は県下6ブロックに編成されており、各ブロックでは、同協議会の効率のいい円滑な運営遂行に資することを目的に、それぞれの自治体の持つ清掃業務の課題等について、年2回情報交換等の研究討議を行っている。 当広域連合は、沿岸南部ブロックの幹事であり事務局となっている。 主な事業の内容は、①沿岸南部ブロック会議開催に係る会員の日程調整 ②同会議資料作成事務 ③同会議の開催 ④岩手県市町村清掃協議会事務局へ同会議で協議された事項の報告 ⑤事務局費の会計事務 である。 事業費は、岩手県市町村清掃協議会から交付されており、主にブロック会議開催のための消耗品費等に当てられている。 なお、当広域連合の幹事の任期は、平成27年度に再任され平成29年度末までとなった。 ※沿岸南部ブロック加入団体(平成28年3月末現在):5市町・4組合																															
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>								総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																													
		都道府県支出金																													
		地方債																													
		その他																													
		一般財源																													
	事業費計(A)	0																													
	人件費	正規職員従事人数																													
延べ業務時間																															
人件費計(B)		0																													
トータルコスト(A)+(B)		0																													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

平成27年度は会議を1回開催し、協議事項等についての意見集約等を行った。
また、その結果を岩手県市町村清掃協議会事務局へ報告した。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

平成28年度においても引き続き幹事であるため、年度内に会議を2回開催し、協議結果を岩手県市町村清掃協議会へ報告する。

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等

沿岸南部ブロック所属市町及び一部事務組合(広域連合)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

沿岸南部ブロック所属市町及び一部事務組合(広域連合)が清掃事業に関わる協議提案事項を一市町等の課題とは捉えず、共有の課題と認識する。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

沿岸南部ブロック会議で提案された議題の協議及び情報交換を通じ、県内他団体の現状や全国的な清掃行政の動向の把握・情報収集することにより、し尿・浄化槽汚泥のより適正な処理の推進を図ることができる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 沿岸南部ブロック会議開催回数	回
イ 協議件数	件
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 沿岸南部ブロック所属市町等団体数	団体
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 提案議題に理解を示した市町等団体数	団体
シ 岩手県市町村清掃協議会への提案件数	件
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円		0	2	2	0	2
		事業費計 (A)	千 円	0	0	2	2	0	2
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時 間	50	56	56	56	56	56
		人件費計 (B)	千 円	200	224	224	224	224	224
トータルコスト(A)+(B)		千 円	200	224	226	226	224	226	
⑤活動指標	ア	回	0	2	1	1	1	2	
	イ	件	2	7	3	3	4	4	
	ウ								
⑥対象指標	カ	団体	9	9	9	9	9	9	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	団体	9	9	9	9	9	9	
	シ	件	0	2	0	0	0	2	
	ス								

事務事業ID	1087	事務事業名	岩手県清掃協議会沿岸南部ブロック会議開催事業
--------	------	-------	------------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
岩手県市町村清掃協議会の発足(平成6年)と同時に地方公共団体が行う清掃事業について、ブロックごとに研修会を開催し、意見交換等を行うことによって、し尿やごみ問題についての共通理解を深め、もって岩手県市町村清掃協議会の効率的、かつ円滑な運営遂行に資することを目的に設置された。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
昨今の清掃事業においては、東日本大震災で放射性物質の影響による一般廃棄物の処分方法や、一般廃棄物処理施設の解体工事に係る財政措置等にかかる提出議題が多く、何れも現状を反映したものばかりである。これらの提出議題については、岩手県市町村清掃協議会の全体会において、県内市町村等の動向を伺うことができる。また、平成23年度には各ブロック・団体からの意見集約を契機に県内50団体が参加する「一般廃棄物処理に係る災害相互応援に関する協定書」を締結した。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
沿岸南部ブロック会員から、施設(所属市町等のし尿処理施設・ごみ処理施設)の視察も必要との意見もある。また、役員は輪番制が妥当ではないかとの意見があり、改選時に検討していく。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 清掃事業にかかるし尿処理及び一般家庭から排出されたごみは、法律により市町村の責務と定められている。このことから、他自治体の課題も当連合の課題と捉えることによって、よりよい清掃事業の政策に反映することができる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 任意団体であることから、必ずしも関与の必要性はないものと思われるが、関与しなければ近隣自治体の情報交換の場がなくなり、また、岩手県市町村清掃協議会の存続も危ぶまれることになる。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 岩手県市町村清掃協議会の組織内で行われていることから、現状のままで適切と考えられる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】  ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 沿岸南部ブロック会議に所属している市町等は、提案議題等を(共有の課題として)理解を示している。また、所属市町等において清掃業務の課題等があった場合には、ブロック会議での協議を経て、岩手県市町村清掃協議会へ提案しており、成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】  ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 岩手県市町村清掃協議会の組織の中で編成されていることから、廃止や休止ということは、岩手県市町村清掃協議会そのものの存続が危ぶまれることから、廃止・休止は難しい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある  (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】  ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ あくまで、岩手県市町村清掃協議会の事業の一環として取り組んでいることから、類似事業との統廃合等他に手段はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】  ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 沿岸ブロック会議が釜石市で開催された際の、出張旅費の支出のみであり、削減の余地は無い。平成27年度は支出なし。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】  ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) この事業に係る当連合の事務は、会議の日程調整・会議資料の作成及び会議内容を岩手県市町村清掃協議会へ報告するという程度のものであり、必要最低限の業務時間で行っているものである。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 事務局としての運営費は、岩手県市町村清掃協議会からの交付金でまかなわれていることから、受益者の負担は生じない。

事務事業ID	1087	事務事業名	岩手県清掃協議会沿岸南部ブロック会議開催事業
--------	------	-------	------------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成27年度も沿岸南部ブロックの幹事(事務局)として会議を開催し、協議事項等についての意見集約を行い、岩手県市町村清掃協議会事務局に報告した。幹事の任期は1期2年であり、引続き平成28年度も常任幹事として取り組んでいく。														
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																										
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																										
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																										
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																										
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 沿岸南部ブロックの幹事の任期は1期2年であることから、将来的には交替となる。 常任幹事を再任されたことにより、平成28年度～平成29年度も継続事業として取り組む。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×	低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		●	×																								
低下	維持		×	×																								
	低下																											
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし																												

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

衛生課長

熊谷明人

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- | | | |
|---------|--|----------------------------------|
| ① 目的妥当性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ② 有効性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ③ 効率性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ④ 公平性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |

(3) 評価結果の根拠と理由

事業費は小規模であるが、清掃業務に関係する団体間において、課題提起や情報交換の場となる貴重な機会を創出し、団体間連携等にも資する事務事業であり、今後も継続が必要であるとともに、適切な事務執行が行われている。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持
 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

平成28年1月開催の沿岸南部ブロック会議において、平成28年度から2年間の任期で常任幹事に再任されたため、平成28年度も当ブロックの事務局として事業を継続していく必要がある。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
低下	維持		×	×
	低下			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項